

会議記録（要旨）

会議名	平成28年度 第2回子ども読書活動推進懇談会	
日時	平成28年10月18日（火） 午後6時～8時	
場所	中央図書館 視聴覚ホール	
出席者	委員	岩崎委員、津田委員、滝田委員、楠本委員、石川委員、沼田委員
	事務局	岡本中央図書館次長、企画運営係（杉本係長、松澤）、事業係（奈良係長、伊藤）
配付資料	第2回杉並区子ども読書活動推進懇談会次第 28年度第1、2四半期子ども読書活動進捗管理票 その他 委員持ち寄り資料	
<p>1 平成28年度第1、2四半期の報告</p> <p>事務局 あかちゃんおはなし会「うたってあそぼ！あかちゃん大集合」は、土曜開催ということでお父さんの参加が多く、平日の開催とは違った雰囲気だったと報告があった。また、荻窪・高井戸こどもセンターの事業案内を中央・宮前図書館であかちゃんタイムと絡めて行った。</p> <p>地域で活動する人々との協力では、高井戸図書館がパネルシアター、紙芝居、エプロンシアターの講座を行った。子育て支援をする方の支援というコンセプトのもと行われ、熱心な受講者が集まった。</p> <p>前回お答えできなかった学校図書館活用モデル実践校は、桃一小、松庵小、三谷小、天沼中、松溪中、向陽中、泉南中、西宮中の8校。</p> <p>読書指導の充実では、第1回司書教諭研修において、ブックウェビングの演習を行った。これは、調べ学習で使われているウェビングー調べる事柄を中心に関連したキーワードを広げていくもので、子どもたちが興味ある1冊の本から関連する本をつなげていき、良い本へと広げていく手法。</p> <p>また、教科等における学校図書館活用・学校司書連携研修でおためし読書の演習を行った。味見読書とも呼ばれているもので、ブックトークが本の紹介であるのに対し、こちらは、3分なら3分と時間を区切って実際に読んでみる。3分経ったら、次の本、次の本と繰り返し、最終的に読んでみたい本を決めるといったものの。</p> <p>子ども対象のレファレンスの充実でパスファインダー「子どもに手渡す本を探す」を作成。通常パスファインダーは図書館 HP に掲載するだけだったが、今回は学校司書、司書教諭、家庭文庫など直接子どもに本を手渡す方に配布を行った。本を利用した体験事業の実施では、図書館でブックトークを聴いてから、区内に一か所しかない和紙工房で本物の和紙を作るというイベントが行われた。</p> <p>中学生・高校生との連携では、東原中学校聞かせや本舗「中学生によるお祭りワ</p>		

ッショイおはなし会」。東原中生徒有志ということで希望者が読み聞かせを行っている。当日は聞かせや本舗のOBが来てくれたとのことと、OBが出来る程の実績が積み重なったことと、現役でも「姉がやっていたから。」という志望動機もあり、いい繋がりが出来ている。

学校への団体貸出で、文化学園大学杉並中学校に貸出をした。過去に他の私立学校との繋がりが報告されているが、定期的な繋がりが出来ていければと思う。

委員 学校司書の研修は業務内で受けているのか？

事務局 時間内でやっている。基本全員だが、研修内容によって希望者で行っている。

委員 多言語の読み聞かせは日本語訳もするのか？外国籍の人は来るのか？

事務局 高井戸図書館の読み聞かせは、ネイティブの方が行い、いちいち日本語訳はしていなかった。近隣の親子が来ている。

委員 聞かせや本舗は図書委員がやるのか？

事務局 希望する生徒が手をあげる。

委員 多言語の読み聞かせは、小さいころから多言語に触れされることなのか、国際交流を目的にしているのか？

事務局 そこまで明確に目的を決めて実施しているわけではないが、子ども読書活動推進計画に新規項目＜子ども向け外国語図書の充実＞がある。

委員 バリアフリー展を図書館でやる意味は、こんな本があるのを周知するのが目的だと思うが、障がいを持っている子どもたちは来るのが難しい。一人では来られないし、静かにしてられないからだ。こども発達センターなど行きやすい場所で開催されるといい。

委員 パスファインダー「子どもに手渡す本を探す」は、どのような人が作ったのか？

事務局 専門非常勤の職員が作成した。

2 平成29年度までの大きな動きについて

事務局 杉並区実行計画、杉並区区立施設再編整備計画のパブリックコメントが出た。その中で図書館に関係するところは、中央図書館の改修が1年遅れて基本計画が来年度、設計が再来年度、改修工事31～32年度となった。

委員 改修中は、閉館するということだがどれくらいか？

事務局 1年半程度を考えているが、詳細は決まっていない。

事務局 永福図書館も計画に入っている。29・30年度で設計、31年度工事の予定である。また、高円寺図書館改築検討も計画に書き込まれた。

委員 中央図書館はワークショップがあったが、永福はないのか？

事務局 複合施設の関係もあり、今のところ永福図書館だけの意見を聞く場は考えていない。中央図書館のワークショップの意見を参考にさせていただく予定。

事務局 ソフト面では、図書館サービスの情報化の推進という項目があり、行政資料のデジタルアーカイブ化、有料データベースの充実、DAISY資料の充実、区内大

学図書館との連携をあげている。

3 子ども読書活動推進計画について

事務局 現計画が29年度までのものなので、30年度に向けて改定作業を行う。改定検討委員会を立ち上げ、29年度中に報告をあげる。骨子が出来たらご報告する。

4 その他

委員 委員が持ち寄った資料で話を。